

特別抗告
提起
事件番号

☒ (ソラ)

令和 4 年 ☐ (行カ) 第 10398 号
☐

令和 4 年 8 月 30 日

☒ 抗告人 孫 樹 斌 ☐ 代表者

☐ 相手方 ☐ 代理人

様

東京地方裁判所民事第 9 部
裁判所書記官

浅香 大八郎



特別抗告提起通知書

申立人 孫 樹 斌

相手方

当裁判所令和 4 年 (モ) 第 2358 号

強制執行停止決定申立

事件

の決定 (命令) に対して特別抗告の提起がありましたので、民事
訴訟規則 208 条, 204 条, 189 条 1 項 (☐ 行政事件訴訟法
7 条) により通知します。

(注) 抗告人は、同封の「特別抗告理由書の提出について」を
お読みください。

特別抗告理由書の提出について

東京地方裁判所

- 1 特別抗告状に特別抗告の理由を記載していないときは、この通知書を受け取った日から14日以内に、特別抗告理由書を当裁判所に提出してください（民事訴訟法336条3項、327条2項、315条1項、民事訴訟規則210条参照）。
- 2 特別抗告理由書には、特別抗告の理由のほか、当事者の氏名又は名称、代理人の氏名、事件の表示、附属書類の表示、年月日及び裁判所の表示を記載し、抗告人又は代理人が記名押印してください（民事訴訟規則2条参照）。
- 3 特別抗告の理由は、憲法の解釈の誤りがあることその他憲法の違反がある事由を具体的に記載してください（民事訴訟法336条3項、327条2項、315条2項、民事訴訟規則208条、190条、193条参照）。
- 4 特別抗告理由書には、正本1通のほかに、相手方の数に6を加えた数の副本を提出してください（例えば、相手方が1人の場合は、提出すべき副本は7通となります。）（民事訴訟規則208条、195条参照）。
- 5 特別抗告理由書を期間内に提出しなかったり、特別抗告の理由の記載の方式が上記3に反している場合は、特別抗告は却下されることとなりますから、注意してください（民事訴訟法336条3項、327条2項、316条1項2号参照）。

以 上